

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課
☎493-2091

未来を生き抜く力を育む

～ICTの活用と、目には見えない大切な力～

秋が深まり、子どもたちがスポーツや学習に一層励む季節となりました。現在市では、時代に合わせた教育を進めています。その1つとして今年度から、小学校で全児童に全教科対応の「Aードリル」を、中学校で全生徒に「英単語学習Aーアプリ」を導入しました。一人ひとりの理解度に合わせてAーが最適な問題を出題することで、基礎基本の定着を強力にサポートしています。

こうした個別最適な学びを通して私たちが育みたいのは、知識をただ暗記するだけでなく、社会で活用できる「生きて働く学力」です。そして、その基盤となるのが非認知能力です。

非認知能力とは、テストの数では測れない力のことです。例えば「目標に向かってあきらめずに努力する力」「他者と円滑なコミュニケーションを築く力」「失敗や挫折から立ち直る力」などをさします。Aーアプリを使って「今日も自分で決めた分を頑張った」「苦手な単語を繰り返し練習できた」という

日々のチャレンジも、まさにこの非認知能力を育てているのです。

このような非認知能力は、学校だけで育むことはできません。ぜひ家庭でも「今日Aードリルでどんな問題が出てきたの?」「英単語アプリ、どこまで進んだ?」など、日々の学習を話題にしてみてください。「頑張っているね」という保護者からの温かい声かけが、子どもたちの自己肯定感や自己効力感など非認知能力を大きく育てます。

教育の原点は、子どもたち一人ひとりの「やってみたい」「できるよになりたい」という思いを応援することにあります。学校での学びの様子を家庭と共有し、家庭での子どもたちの成長を学校でも受け止めながら、学校・家庭双方で喜び合えるような関係を創っていきたくと考えています。子どもたちの豊かな未来と健やかな成長をめざし、これからも手と手を携えて一歩ずつ進んでいきましょう。

学校園紹介

にちにちそう学園 北中小学校です！ ～北中小学校～

北中小学校は、教育目標を「笑顔で豊かにつながり、幸せに生きる人を育てる」と掲げ、全ての教育活動を進めています。また、小中一貫教育を推進する第三中学校区は、「目標をもって、主体的にとりくめる人」「互いの気持ちを考えて、助け合える人」をめざす子ども像としています。

第三中学校区は、学園名の愛称を「にちにちそう学園」に決めました。これは、子ども発案のネーミングで、第三中学校区が大切にしているイメージにも合う「生涯の友情」「楽しい思い出」「やさしさ」といった花言葉をもつニチニチソウに由来しています。

北中小学校では、校区全体で象徴的な連帯を深めることができるよう、PTA活動で植ええをした、にちにちそうポットの配付や、園芸・生活美化委員会を中心とした、子どもたちによる植ええなどを行いました。

今後は、学習内容や指導内容などについても一貫したものとなるよう、第三中学校・長坂小学校・日新小学校といっしょに、取組を進めていきます。



活動の様子 ～日根野中学校～

7月に、青少年指導員や小学校の先生、PTAの方々と一緒に「環境浄化活動」を行い、校舎や地域をキレイにする取組をしました。参加した生徒からは「日ごろは清掃をしない場所をキレイにすることができて、うれしかったです」「地域の方から声を掛けられ、緊張したけど一緒に楽しくゴミ拾いができました」という感想がありました。



また8月には、日根野中学校区（愛称：ひねっこ）の小・中学校の先生が一堂に会し、小・中学校の9年間の学びについて意見を交換し、この校区のより良い教育環境や教育目標について議論しました。子どもの健やかな成長について、話し合ったことを、今後の教育現場で活かしていこうと思います。

10月には「連合スポーツ大会」が行われます。特徴は、各学年A組からE組までである中で、【3年A組】と【2年A組】と【1年A組】で「1つの連合」をつくる縦割りの連合5つが、競技や応援などについて競い合うことです。毎年「連スポ」では、笑いあり・涙あり・感動ありの日根中らしい場面をたくさん見ることができます。

